

芸 術

「 音 楽 II 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第2学年 1～4組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 1年次にて学んだ音楽の基礎の上に、さらなる技術を学びます。 2 アルトリコーダーを用いて、難易度の高いアンサンブルに挑みます。 3 音楽鑑賞ノートを使用し、1年次に引き続き、名曲について深く調べると共に鑑賞する心と態度を身につけます。
使用教科書・副教材等	音楽之友社 「新高校生の音楽II」 「ミステリートレイン」 トヤマ出版

1 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活等との関連など)
第 1 学 期	歌唱 「ミッシェル」 「With you smile」 「Best Friend」 愛唱歌 教材 「市川西高校校 歌2番」	4	二重唱でハモります。快適なテンポで勢いよく歌えるようにする。 学期末実技テスト	歌唱・器楽・鑑賞の授業活動を並行して進めて行きます。
		5	混成四部合唱で歌います。歌詞の意味、響きを感じるようにします。	時間をかけてゆっくと練習します。
	器楽 リコーダー 教材 「見知らぬ町」 「チャリンゴ」	6	二重奏で演奏し、リコーダー特有の柔らかい響きを出せるようにします。	
	ビデオ鑑賞 I 教材 「リコーダーについて」	7	リコーダーについて ソロ楽器として、アンサンブルとしてリコーダーがどういうものか、その歴史から学ぶ。	ノート提出
【課題・提出物等】 ビデオ鑑賞「リコーダーについて」書いたノートを提出します。				
【第1学期の評価方法】 1 歌唱実技テスト、リコーダー実技テスト、ビデオ鑑賞感想プリントの提出および音楽鑑賞ノートの提出と内容、授業への取り組みや出欠席にて評価します。 2 学期末評価は、歌唱実技テスト、リコーダー実技テスト及び感想プリントが60%、音楽鑑賞ノートが30%、授業への取り組み、出欠席が10%の配分で評価します。				
第 2 学 期	歌唱 ビデオ鑑賞 II 教材 「アマデウス」 「ピアノ協奏曲 No. 20」「夜の女王のアリア」	9	「アマデウス」から、モーツァルトの人と音楽について学びます。映画なので、虚構の部分は、よく説明して、才能と社会性について考えます。	事実と虚構の違いについて、そのシーンごとに説明します。
		10	モーツァルトの作品について、平行して学んでいきます。	ペーパーテスト
2	器楽 「リコーダ			

学 期	「 ラカタクイム」 「Swingin Recorder」		ジャズのフーリングを活かすこと。G から C に行くときの指使いに注意する。	学期末実技テスト
	歌唱「あの日に帰 りたい」 「市川西高校校歌 3番」 「A Happy New Year」 鑑賞Ⅱ教材 (CD)	11	女性の自立について歌詞から考える。あの日とはいつのことだろうか？ 愛唱歌として歌う。	
	ガーシュイン作曲「ラプ ソディ・イン・ブルー」	12	J.ガーシュインについて調べ、鑑賞ノートを作成し、感じたことをノートにまとめます。また、アメリカに起こったジャズ音楽の歴史についても学びます	ノート提出
【課題・提出物等】 ビデオ鑑賞「アマデウス」の鑑賞プリントを提出します。またノートを提出します。				
【第2学期の評価方法】 1 リコーダー実技テスト、ビデオ鑑賞感想プリント及び音楽鑑賞ノートの提出と内容、授業への取り組みや出欠席にて評価します。 2 学期末評価は、リコーダー実技テスト及びプリントが60%、ノートが30%、授業への取り組み、出欠席が10%の配分で評価します。				

第 3 学 期	教材	1	イタリア語ならではの表現を味わう。歌詞の意味をイタリア語の発音に活かして使う。	学年末実技テスト
	「カタリ・カタリ」 「山の駅」	2	4人でリコーダーアンサンブル。すべてのパートを吹けるようにする。	学年末実技テスト
	CD 鑑賞 「カタリ・カタリ」 パバロッチェの演奏	3	パバロッチェの演奏は、この曲の劇的な要素を発揮している名演です。この演奏をよく味合う。	ノート提出
【課題・提出物等】 鑑賞ノートを提出します。				
【第3学期の評価方法】 1 自由発表コンサート、音楽鑑賞ノートの提出と内容、授業への取り組みや出欠席にて評価します。 2 学期末評価は自由発表コンサートが60パーセント、音楽鑑賞ノートが30パーセント、授業への取り組みおよび出欠席が10パーセントの配分で評価します。				

【年間の学習状況の評価方法】 下記の4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績、第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。
--

確かな学力を身に付ける為のアドバイス	芸術科目は実技です。参加しなければ出来ません。特にアンサンブルは協調性がとても重要です。学習が進むに連れて、難易度が高くなって行きますが、他人と協力し合い、より素晴らしい演奏を心掛けてほしいと思います。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	①まずは欠席しないことです。そして授業に遅刻をしないこともとても重要です。また教材・用具の準備も始業前にはしておいてください。授業には集中すると共に、指導者の話をしっかりと聞き、他人の演奏にも良く耳を傾けることが大切です。 ②提出物は、期限を厳守してください。欠席等で課題提出が遅れた場合には、すみやかに申し出て、提出することを心掛けてください。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもって授業に臨み、意欲的に学習活動に取り組んでいるか ・教材・用具の準備および管理の視聴等における集中力の維持、アンサンブル授業におけるルームメイトとの協調性等の観点において的確に行動できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏活動の参加の仕方や態度 ・プリント・ノートの提出状況
芸術的な感性や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲・音楽ジャンルの特質を良く理解した上で、その曲想や美しさを感じ取って、表現できるかどうか。 ・演奏上、難しい箇所に出会った場合にいかにその課題を克服できるかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストの内容 ・プリントの内容 ・音楽鑑賞ノートの内容
創造的な表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック名曲の音楽性を感じ取れるかどうか。 ・楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する技能を身に付けているか。 ・楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技法を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストの内容
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解し聴き取っているか。 ・アンサンブルにおいて、多様なパートが相互に関連しあい、音楽を作っていることを理解し、また聴き取れるかどうか。 ・音楽の文化的背景を理解しあい楽曲を聴き取っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽鑑賞ノートの内容 ・アンサンブル実技テストの内容

(3) 担当者からのメッセージ

・誰にも得て・不得手があります。しかしその中においても、十分に能力が発揮できる課題があるはずで
 す。最初から『難しい』とあきらめず、少しずつ努力して行けば必ずと言って良い程に、満足できるレベ
 ルまで到達できると信じています。要は『やる気』です。『やる気』さえあれば何とかなるものなのです。